

ハーバード大学、ジュリアード音楽院卒
世界で活躍するヴァイオリニストが北欧の名門と共演

廣津留すみれ デンマーク王国フィル

指揮：ヘンリック・シェーファー

シベリウス

交響詩「フィンランディア」

Sibelius : Finlandia

チャイコフスキー

ヴァイオリン協奏曲 二長調

Tchaikovsky : Violin Concerto in D major

ヴァイオリン：廣津留すみれ

Violin : Sumire Hirotsuru

チャイコフスキー

交響曲第6番「悲愴」

Tchaikovsky : Symphony No.6 "Pathétique"

2025 **4.30** (水) 18:45開演
(18:00開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定(税込)

S席 … 10,000円 A席 … 8,000円

B席 … 6,000円 U25 … 2,000円

2025年
1月24日(金)
発売開始



Henrik Schaefer
(Conductor)

©Ryuto Kurokawa

Sonderjyllands
Symfoniorkester



Sumire Hirotsuru
Denmark Sonderjyllands Symfoniorkester

©Patricio Soto

主催・お問合せ：♪クラシック名古屋 052-678-5310 協力：ガルガンチュア音楽祭実行委員会 後援：デンマーク王国大使館

プレイガイド アイ・チケット 0570-00-5310 アイ・チケット 検索 チケットぴあ ローソンチケット イープラス

芸文プレイガイド 052-972-0430 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755 栄プレチケ92 052-953-0777

※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順などが変更になる場合がございます。その場合もチケットの払戻しは承れません。ご了承ください。※U25はクラシック名古屋(電話のみ)取扱い。公演当日25歳以下、来場時に年齢確認有り。お一人様1枚限り。未就学児のご入場はご遠慮ください。※車椅子でご来場されるお客様は、ご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。



ヴァイオリン：廣津留すみれ

Sumire Hirotsuru

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中に全米ツアーを行いNY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)・ジュリアード音楽院(修士)卒業後、NYで起業。現在、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』(KADOKAWA)など多数。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マとシルクロード・アンサンブルとの度々の共演を果たしたのを皮切りに、米国での音楽活動を拡大。自身の四重奏団を率いてリンカーン・センターやMoMA近代美術館にて演奏を行うほか、ワシントンDCのケネディセンターにて野平一郎氏と共演。これまでに『ファイナル・ファンタジー』シリーズなど名作ゲームの演奏・録音を数々担当。ギル・シャハムとThe Knightsのメンバーとして共演した最新アルバムがグラミー賞2022にノミネート。古楽器ではバツハ・コレグウム・ジャパン(BCJ)と独・ライブツィヒのゲヴァントハウスや東京オペラシティなどで共演。2022年にCD『メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲+シャコンヌ』をリリース。タンゴ奏者としての活動もライフワークとして行い、2023年にはアルゼンチン・ブエノスアイレスにてティピカ・メシエズ楽団と録音したアルバム『Psicoporteño』が米国にてリリース。近年は日本を拠点に東京フィルハーモニー交響楽団や関西フィルハーモニー管弦楽団などと共演のほか、各地でのリサイタルや音楽祭に出演、また『徹子の部屋』『題名のない音楽会』(テレビ朝日)での演奏や、『歌えるJ-POP』(NHK-BS)での坂本冬美氏や島津亜矢氏との共演も話題に。これまでに、辰巳明子、川崎雅夫の各氏に師事、室内楽をロナルド・コープス、ジョセフ・リンの各氏に師事。

指揮：ヘンリック・シェーファー

Henrik Schaefer



1991年にベルリン・フィルの最年少団員になったことは、彼のキャリアの始まりに過ぎなかった。オーケストラでヴィオラを演奏するかたわら、1994年から1998年までライブツィヒで指揮の勉強をし、2000年にクラウディオ・アバドの指名でベルリン・フィルのアシスタント・コンダクターに選ばれる。2000年から2003年まで、アバドのアシスタントとしてベルリン・フィルを指揮する機会に恵まれ、『トリスタンとイゾルデ』『パルシファル』『ファルスタッフ』等のオペラや、マーラー、ブルックナーの交響曲を多数指揮した。2001年、

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団との「春の祭典」が彼の指揮者としてのキャリアの幕開けであった。オペラでは、『フィガロの結婚』(03年ライブツィヒ)、『エフゲニー・オネーギン』(05年ケムニッツ)、『ファウスト』(06年ソウル)、『パルシファル』(07年カールスタッド)、『カルメル会修道女の対話』(07年デン・ハーグ)、『フィガロの結婚』(07/08年イエーテボリ)、『ラ・ボエーム』(08年カールス

タッド)、『コジ・ファン・トゥッテ』(09年デン・ハーグ)、『魔笛』(09年ハーデラン、09/10年イエーテボリ)等の作品を指揮し、成功を収めている。2011年は、ヴェルムランド・オペラで5回にわたりワーグナーの「ニーベルングの指環」全4作品を指揮し、大成功を収めた。イエーテボリでは世界的舞踏家・振付家のマリー・シュイナルによる「春の祭典」の新演出を指揮し、今シーズンはスペインのマドリッド・オーデイトリオ・ナショナルでコンサート・デビューを飾る。シェーファーは優れたオーケストラに定期的に客演しており、BBCスコティッシュ交響楽団、トリノ王立歌劇場管弦楽団、オランダ放送交響楽団、オランダ放送室内交響楽団、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団、ルーアン歌劇場管弦楽団、ノールショピング交響楽団、オランダ・シンフォニア、フランドル交響楽団、ヘルシンボリ交響楽団、日本では、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団を指揮している。現在、スウェーデンの名門イエーテボリ・オペラの音楽監督。これまでに、スウェーデンのヴェルムランド・オペラの首席指揮者、広島交響楽団の首席指揮者を務めた。



 Sønderjyllands Symfoniorkester

デンマーク国立フィルハーモニー管弦楽団

Denmark Sønderjyllands Symfoniorkester

美しいアルシオンコンサートホールを拠点とし、デンマークのセナボーに位置する65人のメンバーからなるフィルハーモニー管弦楽団である。クラシックの交響曲、室内楽、オペラなど、さまざまなジャンル、子供向けの学校コンサートなど年間約150回のコンサートを行っている。またこの楽団は、デンマークの南ユトランド地域やドイツ北部の南シュレースヴィヒ地域の州立オーケストラとしても活動しており、2023年には国営オーケストラとして60周年を祝い、その記念ツアーでフェロー諸島とグリーンランドを訪れ、大いなる成功を収めた。

クラシック音楽はもちろん、カール・ニールセン、ニールス・W・ガーデ、ルード・ランゴー、ハンス・クリスチャン・ルンビエなどのデンマークの作曲家の作品の演奏で素晴らしい功績を収めている。首席指揮者のリユー・シャオチャとヨハネス・ヴァルトナーは、同楽団の発展に顕著な影響を与えており、サラ・チャン、アンソニー・パパノ、ルチアーノ・パヴァロッチェ、イザベル・ヴァン・クーレン、ニコライ・ズナイダー、アンドレアス・ブランテリドなどの著名アーティストとの共演も行っている。